

## 令和元年度 事業計画

日本では、世界に類を見ない超高齢社会が進行しております。急速な高齢化と人口減少は社会保障の増大や生産年齢人口の減少などを通じて、経済活動にもさまざまな影響を与えつつあります。また、高齢化の進展はこれまで地方圏で先行していたが、今後大都市圏における急速な高齢化の進行が懸念されます。超高齢社会においては、一人暮らし老人の増加に伴う介護問題や、買い物難民の増加などのマイナスの影響が多く語られがちである一方で、元気で経験豊かで行動的な高齢者(アクティブシニア層)も増加しております。団塊の世代が70歳代に入りつつあり、その世代層が就業、ボランティア、趣味の活動などさまざまな形で社会に参加していくことは、高齢者の健康維持にもつながると共に経済面においても大きな役割を果たすこととなります。これからの日本経済は「アクティブシニア層」を社会の中でどう位置づけるかが超高齢社会の重要な課題の一つであり、その担い手となるのがシルバー人材センターであります。今後、シルバー人材センターの躍進には「高齢者が就業しやすい就業環境・就業条件の開発」「高齢者の能力を活用する産業の創造」「高齢者が参加に意義を見いだす事業の創造」の3点が労働力不足が深刻化する中で、シルバー人材センターが担う重要な役割となります。以上のことを踏まえて、以下の事業に取り組んでまいります。

### 事業実施計画

#### (1)会員の増強・センター事業のPR

- ① 月1回の入会説明会の他、随時入会説明会を実施致します。
- ② 女性理事による女性限定の入会説明会を実施いたします。(土日祝祭日)
- ③ 公的機関等が開催する公開講座・研修等へ出向き、会員募集を行います。
- ④ 入会キャンペーン期間を設け、期間中に入会者には粗品を贈呈いたします。
- ⑤ 1会員1入会者紹介キャンペーンを実施致します。
- ⑥ 地域の催し物への参加を図り、広く市民の方々にシルバー人材センターを周知致します。

#### (2)就業先の確保及び紹介

- ① 公共施設等にポスターやパンフレットを配置し就業先の確保に努めます。
- ② 派遣開拓員による会社訪問・チラシのポスティング等を行い、派遣先の拡大に努めます。
- ③ 事務局の外(道路側)に面した場所に「お仕事情報館」を設置して求人状況・求職状況を開示致します。
- ④ 道路に設置してある案内板を「シニアパワーステーションの名称・ロゴマーク」に変えてセンターのイメージを改新致します。
- ⑤ マグネット式のセンター看板を作成し、すべての公用車に取付け普及啓発を行います。

### **(3)新規事業への取り組み(シルバーファーム(農園)・空き家活用)**

- ① 平成30年度会員所有の土地の一部を借用し、大根を植え「たくあん」を試験的に作りました。今後は商品化に向け、多くの意見を参考に、羽生市シルバー人材センターの特産品とし販売できるよう取り組んでまいります。
- ② シルバーファームで収穫した新鮮野菜を販売し、また加工するとともにサロンに提供し食材として利用できるように段階的に実施致します。
- ③ 県の補助事業が確定したのち、空き家をリフォームして、高齢者等の憩いの場として利用すると共に、シルバーファームで採れた旬の野菜を使った軽食を提供し、また会員手作りの手芸品、革製品の販売等、新たな事業へ段階的に取り組んで参ります。
- ④ 会員スタンプ専用カードを作成し研修会参加・ボランティア活動への参加・また会員紹介等、協力していただいた場合にはスタンプを付けてポイントが貯まると粗品と交換できるように致します。

### **(4)将来に向けた事業基盤及び事務局体制**

- ① 中・長期計画(2020年～2025年)5ヶ年計画を策定し、センター運営の主軸を策定致します。
- ② サポート事業を有効活用し、事務局体制の改善を図ります。
- ③ 職員の高齢化に伴い、後継者育成を主体とした組織体制に着手致します。

### **(5)安全就業と業務安全委員会の強化**

- ① 事業の中核ともいえる「安全就業」。業務安全委員会を強固なものとして夏場の巡回をはじめ安全講習会を開催いたします。
- ② 1年に1回健康状態のアンケートを実施致します。
- ③ 熱中症対策費用を計上致します。

### **(6)会員に必要な知識の習得・常識ある行動、基本理念の再認識**

- ① 仕事上の責任や危機意識を高めるために、専門家(弁護士)による事例を取り入れた研修会を開催いたします。
- ② 親切丁寧な対応、まじめな仕事、接客に対する気配りと常識ある行動を徹底致します。
- ③ 会員は事業主である以上、自身で発注先と打ち合わせ協議し、発注者の意向に基づいた仕事を行うよう基本理念を再認識致します。

### **(7)ボランティア活動の実施**

- ① シルバー人材センター事業の啓発と会員の社会貢献を目的に、例年実施している「市役所松等剪定」「街なか清掃」「キヤッセ羽生清掃」のボランティア活動を継続するとともに、新しいボランティア活動に組みます。

\* 令和元年度数値目標 (会員数)350名 (契約金額)2億1千万円